

【ご参考】

下記は 2022 年 10 月 14 日に NY で配信したリリースの概略部分の参考和訳です。本文と原文の内容に相違がある場合は原文が優先します。
原文リリースは[こちら](#)からご覧いただけます。

JP モルガン・チェース、2022 年第 3 四半期決算¹を発表

2022 年第 3 四半期:純利益 97 億ドル、EPS3.12ドル、
9.59 億ドル(1 株あたり 0.24ドル) の投資有価証券関連損失を含む

- 株主資本利益率(ROE)15%、有形自己資本利益率(ROTCE)²18%
- 普通株式等 Tier1 比率³ 標準的手法 12.5% 先進的手法 13.0%
- Std. RWA (リスクアセット標準的手法)³ 1.7 兆ドル、手元流動性⁴ 1.5 兆ドル、
期中平均ローン残高 1.1 兆ドル

2022 年第 3 四半期(以下、当期)の業績概要

会社全体

- 当期収益は 327 億ドル、管理ベースでは 335 億ドル²(9.59 億ドルの投資有価証券関連損失を含む)
- クレジットコストは 15 億ドル(8.08 億ドルの貸倒引当金繰入および 727 百万ドルの貸倒償却含む)
- 期中平均ローン残高は 7%増、期中平均預金残高は 3%増

CCB: コンシューマー & コミュニティ・バンキング (当期 ROE: 33%)

- 期中平均預金残高は 9%増、顧客投資資産は 10%減
- 期中平均ローン残高は前年比 2%増/前四半期比 1%増、カード貸倒損失率は 1.40%
- デビットおよびクレジットカード販売取扱高⁵は 13%増
- モバイルカスタマー数⁶は 10%増

CIB: コーポレート & インベストメント・バンク (当期 ROE: 13%)

- グローバル投資銀行業務の手数料収入は今年度累計で業界トップを維持。ウオレットシェアは 8.1%
- フィクスト・インカム・マーケットツ収益 22%増、エクイティ・マーケットツ収益 11%減で、マーケットツ業務収益は 8%増の 68 億ドル

CB: コマーシャル・バンキング (当期 ROE: 14%)

- インベストメント・バンキング収入は 43%減の 7.61 億ドル
- 期中平均ローン残高は前年比 13%増/前四半期比 4%増、期中平均預金残高は 6%減

AWM: アセット・ウェルス・マネジメント (当期 ROE: 28%)

- 運用資産残高(AUM)は 13%減の 2.6 兆ドル
- 期中平均ローン残高は前年比 8%増/前四半期比フラット、期中平均預金残高は 10%増

【ご参考】

特記事項

- ・ 第3四半期には、コーポレートとして 9.59 億ドルの投資有価証券関連損失を計上（1 株当たり 0.24 ドルの損失）

資本還元

- 普通株式配当 30 億ドル、1 株当たり 1 ドル
- 総還元性向^{7,8} 43%

盤石な財務基盤

- 1 株当たり純資産 1%増の 87.00 ドル、1 株当たり有形自己資本² は前年比フラットの 69.90 ドル
- バーゼル III 普通株式等 Tier1 自己資本³ は 2,100 億ドル、同比率は標準的手法³ 12.5%、先進的手法³ 13.0%
- 全社ベース SLR（補完的レバレッジ比率）は 5.3%

営業レバレッジ

- 当期費用は 192 億ドル、オーバーヘッド比率は 59%、管理ベースオーバーヘッド比率² は 57%

お客様や地域社会のために

- 22 年第 3 四半期累計の融資および資本調達⁹ 実施額は 1.9 兆ドル
 - 個人のお客様向け融資 1,960 億ドル
 - 米国のスモール・ビジネス向け融資 240 億ドル
 - 法人向け融資 7,990 億ドル
 - 法人および非米国政府機関向けに実施した資本調達 7,990 億ドル
 - 非営利団体および州、自治体、病院、大学を含む米国政府機関向けに実施した融資・資本調達は 510 億ドル

-
1. 記載されている増減率は、特に注記のない限り前年同期比です。
 2. Non-GAAP 財務数値（管理ベースを含む）に関する注記は、英文リリース 6 頁を参照。追加注記は 7 頁を参照。
 3. 概算値。連邦準備制度理事会（「連邦準備制度」）が提供した COVID-19 に対応した救済措置の影響を反映しています（2021 年 12 月 31 日で失効した CECL 資本経過措置規定を含む）。2022 年 1 月 1 日以降、2021 年 12 月 31 日時点で認識していた普通株式等 Tier1（「CET1」）自己資本 29 億ドルはその後 3 年間にわたって、毎年 25% ずつ減価されます。2022 年 9 月 30 日時点では、CET1 自己資本は 22 億ドル残存しています。追加情報については、2022 年 6 月 30 日に終了した四半期の Form 10 Q の 44～49 ページ および 2021 年の Form 10 K の 86～96 ページのキャピタル・リスク・マネジメントの項目をご参照ください。
 4. 概算値。手元流動性には、抵当権設定のない適格流動資産（「HQLA」）の期中平均残高、その他 HQLA 適格証券の期末残高（これらは銀行以外の関連会社に譲渡できない JP モルガン・チェース銀行の余剰流動性の一部として含まれ、そのため当社の流動性カバレッジ比率（「LCR」）の計算からは除外されます）、抵当権設定の無い市場性有価証券（株式や債券など）の期末残高、が含まれます。連邦住宅貸付銀行（「FHLB」）の借入能力および連邦準備銀行の貸出は含まれていません。追加情報については、2022 年 6 月 30 日に終了した四半期の Form 10 Q の 50～54 ページおよび 2021 年の Form 10K の 2021 年 報告書の 97～104 頁の流動性リスク管理の項目をご参照ください。
 5. コマーシャルカードは除外
 6. 過去 90 日以内にモバイル・プラットフォームにログインしたユーザー数を指します。
 7. 過去 12 ヶ月（LTM）
 8. 従業員保有株分の影響を含みます。
 9. 顧客向け与信枠はローンおよびコミットメントを含む新規および継続更新された与信枠を指します。